

観察した鳥類チェックリスト

- | | | | |
|-------------|------------|-----------|-----------|
| ★キジ目 | ★ツル目 | ★ハヤブサ目 | □ ツグミ |
| ・キジ科 | □ クイナ | ・ハヤブサ科 | □ ジョウビタキ |
| □ キジ | □ パン | □ チョウゲンボウ | ・スズメ科 |
| ★カモ目 | □ オオバン | □ ハヤブサ | □ スズメ |
| ・カモ科 | ★チドリ目 | ★スズメ目 | ・セキレイ科 |
| □ コブハクチョウ | ・チドリ科 | ・モズ科 | □ キセキレイ |
| □ オカヨシガモ | □ タゲリ | □ モズ | □ ハクセキレイ |
| □ ヨシガモ | □ ムナグロ | ・カラス科 | □ セグロセキレイ |
| □ ヒドリガモ | □ コチドリ | □ カケス | □ タヒバリ |
| □ マガモ | ・セイタカシギ科 | □ オナガ | ・アトリ科 |
| □ カルガモ | □ セイタカシギ | □ ハシボソガラス | □ カワラヒワ |
| □ ハシビロガモ | ・シギ科 | □ ハシブトガラス | □ アトリ |
| □ オナガガモ | □ タシギ | ・シジュウカラ科 | □ ウソ |
| □ コガモ | □ イソシギ | □ ヤマガラ | □ シメ |
| □ ホシハジロ | ・タマシギ科 | □ シジュウカラ | □ コイカル |
| □ キンクロハジロ | □ タマシギ | ・ヒバリ科 | ・ホオジロ科 |
| □ ミコアイサ | ・カモメ科 | □ ヒバリ | □ ホオジロ |
| ★カイツブリ目 | □ ユリカモメ | ツバメ科 | □ カシラダカ |
| ・カイツブリ科 | □ セグロカモメ | □ ツバメ | □ アオジ |
| □ カイツブリ | □ オオセグロカモメ | ・ヒヨドリ科 | □ オオジュリン |
| □ カンムリカイツブリ | ★タカ目 | □ ヒヨドリ | □ |
| □ ミミカイツブリ | ・ミサゴ科 | ・ウグイス科 | □ |
| □ ハジロカイツブリ | □ ミサゴ | □ ウグイス | □ |
| ★ハト目 | ・タカ科 | ・エナガ科 | □ |
| ・ハト科 | □ トビ | □ エナガ | □ |
| □ キジバト | □ チュウヒ | ・メジロ科 | □ |
| ★カツオドリ目 | □ ツミ | □ メジロ | (外来種や家禽) |
| □ カワウ | □ ハイタカ | ・ヨシキリ科 | バリケン |
| ★ペリカン目 | □ オオタカ | □ オオヨシキリ | ガチョウ |
| ・サギ科 | □ ノスリ | ・セッカ科 | アヒル |
| □ ヨシゴイ | ★ブッポウソウ目 | □ セッカ | ドバト |
| □ ゴイサギ | ・カワセミ科 | ・ムクドリ科 | |
| □ アマサギ | □ カワセミ | □ ムクドリ | |
| □ アオサギ | ★キツツキ目 | ・ヒタキ科 | |
| □ ダイサギ | ・キツツキ科 | □ シロハラ | |
| □ チュウサギ | □ コゲラ | □ アカハラ | |
| □ コサギ | | | |

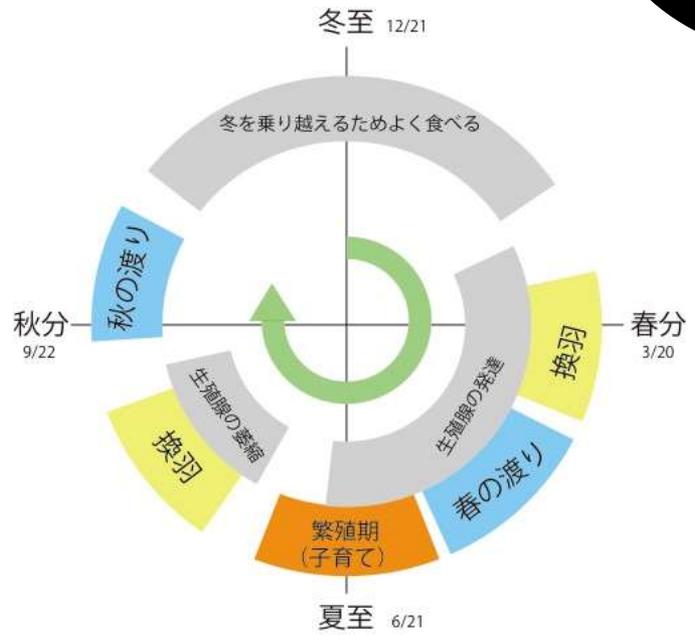
5

【5月のテーマ】

渡りと繁殖

案内人：蒲田知子、染谷迪夫（鳥の博物館市民スタッフ）





※「中村司(2012) 渡り鳥の世界」より改変。冬至、春分、夏至、秋分の日付は2016年のもの。

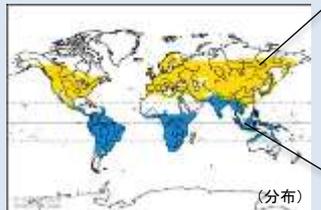
渡り鳥の3大イベントとスケジュール管理

日本で繁殖する夏鳥は、東南アジアなどの越冬地との間を毎年往復(渡り)します。また、**渡り**に加え、**繁殖(子育て)**と**換羽**も行います。渡り鳥は、これらたくさんのエネルギーを使う3大イベントを、各種の生活に合わせて年間スケジュールにうまく組み込んでいます。このスケジュールは、おもに日照時間が関与するホルモン分泌によってコントロールされています。

てがたんコースで繁殖するおもな夏鳥

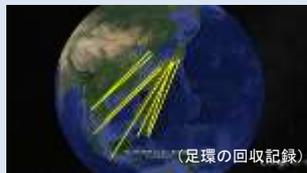
ツバメ

Barn Swallow
Hirundo rustica



繁殖地
(黄)

越冬地
(青)



(足環の回収記録)



巣材の泥と枯草を集める。唾液と混ぜ合わせた泥だんごを使って巣を造ります。



カラスなど天敵の近づきにくい人家の軒下に造られた巣。



巣立ったヒナは、ヨシ原に集まり、集団でねぐらをとるようになります。

手賀沼周辺では3月中旬に渡来し、9月下旬まで見られます。人家の軒先などに巣を造り、水田や畑の上で飛びながら空中を浮遊する昆虫を捕らえます。巣立ったヒナは、ヨシ原などで集団でねぐらをとります。

オオヨシキリ

Oriental Reed Warbler
Acrocephalus orientalis



ヨシ原の中に隠れるように造られた巣。草の繊維を使い、お椀型の巣をつくります。



繁殖地
(黄)

越冬地
(青)

(分布)



(足環の回収記録)

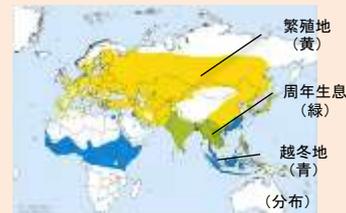
ヨシ原を代表する鳥で、手賀沼周辺では4月中旬に渡来します。オスは、なわばりを守るため一日中さえずり続けます。さえずりは、8月下旬まで聞くことができます。

コチドリ

Little Ringed Plover
Charadrius dubius



地上を浅く掘っただけの簡単な巣。卵の模様は背景にまぎれて目立ちません。



繁殖地
(黄)

周年生息
(緑)

越冬地
(青)

(分布)



(足環の回収記録)

手賀沼周辺では3月上旬に渡来し、9月下旬まで見られます。開けた裸地に巣を造り、子育てします。ピオピオピオと大きな声で鳴きます。